

2月の園だより

令和6年2月1日
目黒区立菅刈保育園長

一年のうちで最も寒さが厳しい時期です。園庭の池ビオトープには氷が張り、手に取ると冷たさにびっくりし、思わず落としてしまうと“パリン”という心地よい音や、土の下には霜柱が出来ていて、踏みつけると“サクサク”という音が聞こえます。冬ならではの感触や音に触れている子どもたちです。

先日4歳、5歳で**おみせやさん**ごっこを行いました。お客さんは0歳から5歳までの全園児と地域の子育て親子、近隣の保育園の園児が来てくれました。お店がオープンすると、張り切って呼び込みをする子、恥ずかしくて声が出せない子と様々でした。そんな中、うさぎ組**に入**ると畑が再現されていて、自分たちで野菜を抜き、好きなものをお土産に持って帰れるというお店でした。そのアイデアの面白いこと。そこには自分たちで育てている本物の大根も置いてありました。「**その**大根も売っているの」と聞くと「この大根は売ってません」「これがいいな」「こっちの野菜の方が美味しいですよ」と自分たちの作ったごぼうを勧めてくれました。また、食べる所が混雑していたので「座るとこないね」と言うと「あと10**ぶん**したらまた来てください」というアナウンスをして**く**れました。お店が一段落してお客さんが来ない時間があると廊下に出て「こっちは空いています。来てください」と呼び込みをする程、役になりきり、しっかりやらなきゃという責任感が感じられました。遊びや日常生活体験の中から出てくるやりとりの面白さを友達と共有することが出来ていることを実感しました。行事を通して一人ひとりが自信を持って年長や小学生になる事への期待感が膨らむ**よう**に、子どもの気づきや表現を受け止め「楽しい」「次もやりたい」という気持ち**を**持てるように関わっていきたいと思います。

子どもが健康的な生活を送れるように食事、睡眠、運動などに留意しゆったりと関わられるよう、保護者の方と一緒に姿を共有し進めていきます。

えんていつうしん

クラスを越えて一緒に遊ぶ姿が増えてきました。



綱引きの大縄や
菜の花畑・池ビオトープは
今年度、職員が作りました。



今月の予定

節分
身体計測(幼児)
身体計測(乳児)
避難訓練



子どもたちのいま好きな遊びを
紹介します。

今月は1.3.5歳児クラスです。



すみれ組



保育士や友達とやりとりを楽しむ姿が増えてきました。保育士がカバンを持ち洋服を着ると、同じように大好きなカバンを持って、スカートやベストを着ておめかしをしておでかけにいきます。もう一人の保育士がお店屋さんになり「〇〇円です」と言うと、手に持っていたおもちゃをお金に見立て、渡してくれます。並んでいる積み木の中から好きな絵を選び「どーも」とやりとりをしています。その積み木は食べ物や携帯に見立ててバックにしまっています。子どものイメージするものは一人ひとり違います。これからも一緒に遊ぶ中でイメージが広がるように関わっていきたいと思います。



りす組



タイヤやバスマット、ベンチなどの遊具を組み合わせる家等作ることが大好きな子どもたち。大きなタイヤは2段3段と自分で持ち上げて重ね、ベンチを引きずって運ぶ姿もあり、自分の作りたい物を作るためにかなり力を使っています。3段4段重ねのタイヤを積み上げている時に「重たくないの」と声を掛けると「りす組だから大丈夫」と逞しい声が返ってきます。タイヤやバスマットを組み合わせながら「ここが入り口ね」「ここは寝る所ね」と時にはベッドのスペースを作って寝転んだり、タイヤの中に入って隠れてみたりとタイヤやマットでこんなに色々な遊び方ができるんだと思うほどイメージを広げて友達と楽しんでます。



春の頃から、クラスみんなでドッチボールを楽しんでました。

始めのころはボールに当たってしまうと悔しくて泣いていた子どもたちでしたが、やっていくうちにボールをよける面白さや、ボールを投げて相手チームに当たると「イエーイ」と喜び合い、ルールの楽しさを感じていました。試合が白熱し、外野でボールの取り合いが起こると「今、先に取ったのは〇〇君だったよ」と子ども同士で解決しようとしたり、「〇〇君の投げるボールすごいね」と友達の良さに気づき、伝え合う姿も見られました。

2月には近隣の保育園の年長組とドッチボール大会があり「ボールは取ったらすぐ投げるよ」「ボールキャッチしないと負けちゃうよ」と作戦を立て、楽しみにしています。毎日の積み重ねの中で、友達と一緒に遊ぶ楽しい経験が子どもたちに色々な学びに繋がっていることを感じます。ドッチボール大会で成長した子どもたちの姿を見られるのが楽しみです。



きりん組

